



本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます

はなやかな桃の節句 雛飾りと抹茶会

古民家では2月8日から雛祭りのお雛さまが飾られています。上座敷から下座敷にかけて緋毛氈が敷かれて、歴史を感じさせる江戸時代から昭和にかけての12組の段飾りや御殿飾りなどのお雛さまが並び、家の中は華やかな雰囲気にあふれています。

雛祭りは江戸時代中期ころにそれまで「雛遊び」とよばれ、神を迎えて祀(まつ)り、女兒の成長を願い、災厄を祓う祭りだったものが、3月の節句と結びついて一層盛んに祭られるようになりました。

ふじやま公園の近くでは、「おすしを作ってもらってみんなで山に行って、ごさをひいて食べた」と77歳の女性が述べています(「本郷のお



抹茶会



座敷にならんだお雛さま

んなたち」本郷ふじやま公園古民家歴史部会 平成18年)

同じようなことが全国で行われており、群馬県上野村乙父(おつち)地区では、毎年4月3日(旧暦三月節句)の日、朝早くから少女たちがお城と呼ばれる円形の石積みの中にこたつやお雛様を運び込んで、お粥を食べたり遊んだりして一時を過ごします。

3月4日12時~15時には、古民家で抹茶会が開かれ、お雛さまを愛でながら抹茶とお菓子をいただきます。

(先着30名一服300円 当日直接古民家へ)



立春を過ぎたというのに、まだまだ寒さの厳しい日が続いている。公園の中も裸の木が多く寂しげだが、よくよく見てみるとボタンの蕾やアジサイの新芽が赤く膨らむなど、植物達は季節の移り変わりをちゃんと感じ取り、春を迎える準備を着々と進めていることが実感できる。少し離れた陽だまりでは、子どもたちが“ I want you ~ I need you ~ ”と叫びながら落ち葉を蹴散らかして遊んでいる。アラ還世代には馴染みにくいが今をときめくアイドルの歌だ。

穏やかな日差しの中で子どもたちを見ていると“もうすぐ春ですねえ。重いコート脱いで出掛けてみませんか。”と歌っていた昭和の三人娘のことが懐かしく思い出された。そろそろ春の足音が聞こえてくるころだ。彼女たちが歌ったように、落ち葉の下では、つくしの子が恥ずかしそうに顔を出す準備をしていることだろう。





七草粥と子ども遊び

七草粥は年末年始に酷使した胃腸にとても優しい。1月8日(日)100食用意した券は早々に完売しました。公園の七草粥はお餅が入った優しい塩味。古民家の縁側やお座敷で食べていた多くの人から“美味しい”



という感想を頂きました。庭の中央ではけん玉にトライ、三度目に成功！お母さんに喜びを眼で伝える男の子、またコマ回しの得意なお父さんは糸の巻き方や投げるコツを子ども達に伝授していました。懐かしい絵柄の羽根つきは女の子達に人気、お母さんとラリーを楽しみました。元気な笑い声はふじやま公園に早い春を迎えました～。



古民家で恒例の消防訓練



今年一番の寒さと梅林から富士山がいつもよりも一回り大きく見える1月26日、文化財防火デーにちなんで、恒例の消防訓練が行われました。火災発見、119番通報、来園者誘導、・・・消防自動車到着、怪我人救出、一斉放水、鎮火と進



行しました。消防自動車と移設後の放水銃からの一斉放水で、古民家の中庭に時ならぬ虹が出現しました。消防訓練後、消防署員の指導で来園の皆さんにも消火器の訓練に参加していただき、火事を出さないこと、まさかの時の日頃の訓練の大切なことを再認識しました。今年の訓練で目立ったことは古民家と消防訓練の組合せの写真を狙った十指に余るカメラマンが訓練前から待機していたことです。



古民家 Q&A 育児散看板



Q：内蔵の奥に育児散の看板がありますが育児散とは？

A：小岩井家が幕末から昭和にかけて製造・販売していた小児用薬です。

薬効として乳児の胎毒下しや蛔虫駆除などが記されています。「官許」とありますが現在で云えば「厚生労働省認可」に相当します。小岩井家に残されている文書によれば育児散の売薬の鑑札の申請に対して鑑札料と実印を持参して出頭するようにとの鎌倉郡役所からの通達がありました。また販売に際して貼付する印紙(現在の消費税に相当)を藤沢税務署から購入し貼付し、かつ報告することが定められていました。奈良駅前の旅館から薬効が優れているので注文するハガキが残されており、当時は相当の評判を得ていたことがうかがえます。



屋根補修完工

昨年11月中旬から行われていました主屋と長屋門の棟部分(グシ)および主屋煙出しの補修工事が12月下旬に完工しました。工事期間中は足場や養生等で来園者の皆さんにはご不便・ご迷惑をおかけしました。工事完工を祝って年末もちつき会では二色餅を配りました。補修部分が盛上っているのは時間の経過とともに補修部分が沈下して、いずれは未補修部分と同じ高さになります。



『いろり辺雑記』から (原文のまま)

ふじやま公園正面入口に入る前に左側をみてください。富士山がとてもきれいにみえます。でも、残念ながら樹が邪魔をして全てがみえません。樹を右側に移したら、富士山がきれいにみえると思います



ふじやま公園の植物

ユキヤナギ バラ科

サクラよりも早く2月末頃から5月、垂れる枝に雪が積もったように白い小さな花をびっしりとつける。葉は小さめで優しげな雰囲気。日本原産で耐寒性が強く土壌を選ばず成長も早いので育てやすい。自然な樹形は庭だけではなく道や公共の施設でも見かける。他に薄いピンク色のベニバナユキヤナギがある。花言葉は愛嬌、愛らしさ。ふじやま公園内では至るところに植栽してある。



平成24年3月ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	2日(金)	古民家歴史部会 部会	11日(日)
農芸部会 部会	19日(月)	古文書解読勉強会	4日(日) 25日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	1日(木)
里山部会 作業	10日(土) 17日(土) 25日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます
工作棟部会 部会	28日(水)	クリーンアップ	6日(火) 20日(火)
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	3日(土)
ホームページ制作打合せ	2月26日(日)	印刷	10日(土)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 896-0590)へご連絡下さい。

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
作って遊ぼう～ 子供工作の日	3月18日(日)10時～12時 13時～15時	厚紙でブーメランをつくる 当日受付	無料 先着各15名	10時～11時 13時～14時
植物画教室	4月2日(月) 5月7日(月) 6月4日(月) 7月2日(月) いずれも 13時～16時	生涯楽しめる趣味を身につけま せんか	無料	3月23日(金)
木版画教室	4月7日(土) 5月5日(土) 6月2日(土) 7月7日(土) いずれも13時～16時	初心者でもわかりやすく説明し ます	500円	3月31日(土)
篆刻教室	4月1日(日) 5月6日(日) 6月3日(日) いずれも10時～12時	3回シリーズで「印」をつくります	1,000円	3月15日(木)
押し絵	4月5日(木)10日(火) いずれも13時～16時	「こいのぼり」を色紙に貼ります	1,500円	3月25日(日)
いろいろ端むかし 話の会	4月12日(木) 10時30分～11時30分	いろいろの火を囲んで栄区や横浜 近辺に伝わる昔話や日本の昔 話を楽しんでみませんか	無料	当日参加 先着15名
フラワー アレンジ	4月12日(木) 13時30分～15時30分	プリザーブの春らしいアレンジ	2,000円	3月20日(火) 8名
竹林整備 (筍堀り)	4月14日(土)10時～12時 雨天の場合は15日(日) に順延します	家族はハガキ1枚で4名参加可 能 危険な場所があるため未就 学児はご遠慮ください	無料	4月6日(金) 100名
遊布	4月18日(水)13時～16時	古布でプローチ3種	1,000円	3月31日(土) 10名
押し花	4月20日(金)13時～16時	春の花を押し花額にデザイン 18cm×10cm	2,000円	4月13日(金) 10名
4月茶道体験 教室	4月21日(土)13時～16時	古民家で茶道を楽しんでみませ んか 平服でおいで下さい	500円	4月10日(火) 10名

(1)持参品：返信はがきで連絡します。(2)定員：12名。応募者多数のときは抽選

(3)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

・・・お知らせ・・・

花見会

日時 4月8日(日) 10時～13時 雨天中止

演芸：和太鼓、殺陣、獅子舞、安来節

販売：五平餅、ジャガバター、甘酒、綿菓子、磯部巻き、竹炭、梅干

その他：ふじやま流茶会、輪投げ、貼り絵があります。



1月ふじやま公園来園者数 1,778名

累計 16,464名

・開館時間：9:00～17:00	・入館料：無料
・休館日：3月7日(水)	・クリーンアップ：3月6日(火) 10時～11時

ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL: 896-0590 FAX: 896-0593

「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。